



およその大きさ 100×90×25cm

形の特ちょう (ニックネーム)

色の特ちょう

- ・ 緑色
- ・ 下半部は白色の縞模様になっている

表面の特ちょう

- ・ 緑色の面に数本の細い岩脈
- ・ 緑色の細粒物質でザラザラしている
- ・ 表面の結晶が肉眼で見える

側面の特ちょう

- ・ 上半部が緑色のほぼ一様な岩体であるが下半部が白色との縞模様になっている

含まれているもの

- ・ 表面に黒い斑紋が散在
- ・ 白色鉱物は斜長石, 黒色の鉱物は輝石と考えられる

その他の特ちょう

- ・ 表面の緑の物質はカッターナイフで傷がつく (爪ではつかない)
- ・ かすかに磁石に付く



メモ

【観察メモ】

- * **ドレライト**とは斑状組織の石基が肉眼で見えるほど粗粒になった火山岩で特に斜長石が長柱状になっている
- * この岩体はドレライトが緑色岩化している。ということは、ドレライトが変成作用を受けて緑泥石などができていることを意味する

岩石名

ドレライト起源の緑色岩